

授業科目名 <英訳>	基礎人類遺伝学演習 (GC限定) Fundamental Human Genetics, exercise				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 小杉 眞司					
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2018・ 後期不定	曜時限	木 6	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
【授業の概要・目的】											
【基本情報】 授業日時：後期木曜6限（例外予定にご注意ください） 教室：G棟3階演習室 レベル：応用 担当者：小杉眞司・和田敬仁・山田崇弘・澤井英明（兵庫医科大学）・川崎秀徳											
【コースの概要】 遺伝カウンセラーとしての基礎知識となる遺伝子・染色体の分析について、演習を通じて体験することにより、具体的に理解することを目的とする。家系図作成、遺伝形式の推定、遺伝的リスクの推定などについて、演習を行うほか、臨床の現場で行われる画像診断、医学的フォローの実践についても学ぶ。											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> ・家系図作成、遺伝形式推定、再発確率計算を正確に行うことができる ・遺伝学的検査の方法について具体的に理解し、正確に説明することができる 											
【授業計画と内容】											
<p>【第1回】7/4水6限<澤井>「骨系統疾患とレントゲン・エコー検査」胎児の先天異常で頻度の高い骨系統疾患について概説し、その診断のために必要なレントゲン読影の知識を習得する</p> <p>【第2回】10/4<小杉1>「研究紹介」</p> <p>【第3回】10/25<山田1>「胎児超音波検査」妊娠初期～中期にかけての超音波検査、特に染色体異常と関係するソフトマーカーについて理解する。妊娠後期に施行される超音波検査とその意義について理解する</p> <p>【第4回】11/1<和田1>「家系図作成演習」標準的家系図記載法を学び、遺伝形式および遺伝的リスクの推定する演習</p> <p>【第5回】11/8<山田2>「放射線・環境因子・感染症の胎児への影響」先天異常の原因において5%程度を占める環境因子について理解する</p> <p>【第6回】11/15<和田2>「分子遺伝学的解析を学ぶ」英語文献の症例報告から、分子遺伝学的解析の方法とその解釈を学ぶ</p> <p>【第7回】11/22<和田3>「染色体検査結果の解釈(1)」染色体検査の適応、検査法ならびに核型解析、染色体検査結果の解釈を学ぶ</p> <p>【第8回】11/29<小杉2>「遺伝学的検査演習」遺伝子変異の記載方法、DBのサーチ遺伝学的検査結果報告書の解釈等</p> <p>【第9回】12/6<山田3>「流産絨毛検査」妊娠初期の流産では半数以上で染色体異常が生じている流産患者における検査の意義について理解する</p> <p>【第10回】12/13<和田4>「染色体検査結果の解釈(2)」染色体検査以外の細胞遺伝学的検査法（特にCGHアレイ）を学ぶ</p> <p>【第11回】12/20<山田4>「羊水染色体検査」羊水染色体検査の実施方法を理解しその検査に当たった適切な説明について検討する</p> <p>【第12回】1/10<山田5>「バリエーションの評価」検出されたバリエーションの評価を行い、その解釈を学ぶ</p> <p>【第13回】1/17<小杉3>「個人面談」</p>											
基礎人類遺伝学演習 (GC限定) (2)へ続く											

基礎人類遺伝学演習（GC限定）(2)

【第14回】1/24 <和田 5> 「バリエーションの評価」 遺伝性疾患が疑われる症例の診断方法とその結果を検討する

【第15回】1/31 <川崎> 「診療録からの情報収集・医療情報の収集」 診療録からの情報収集のコツを学ぶ。一般的な医療情報の収集に関して整理する

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース1回生限定必修科目（事前確定科目）

【成績評価の方法・観点及び達成度】

積極的な演習への参加，レポート，発表，出席等を総合的に評価する

【教科書】

ハンドアウトを配布

【参考書等】

（参考書）

【授業外学習（予習・復習）等】

適宜指示する

（その他（オフィスアワー等））

講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。